

なら歯と口腔の健康づくりフェスティバル

第39回 令和元年度

11月17日(日)12:00～16:00まで奈良県歯科医師会館でフェスティバルが開催されました。元水泳選手、千葉すずさんの公開講座や、口腔がん検診の講座、歯科無料相談、デンタルラリー、ははは歯っぴい教室、おもしろ実験、等々様々なイベントが行われました。

技工士会は「歯ートフル技工」コーナーで指の印象の石膏流しとプラ板作成を担当。11:00に集合、コーナーの準備です。いつもお手伝いしてくれる会員ばかりですし、印象は衛生士さんにお任せするので、早く済みました。

私事ですが、認知症の母を一人に出来ないの
で連れて来ていました。今
まで他のコーナーでどん
なことをしているのか知



らなかつたので、母に体験してもらいました。認知症になってから転倒して上顎7本の歯を失った母・・・初めて義歯の着脱 管理 清掃 すべてにおいて認知症の母には難しい事でした。ガムを噛んで噛む力を調べるコーナーで、作った義歯がちゃんと噛めているようなので、ちょっと安心。いろいろ問題はあるのですが、治療だけではわからない事がちょっとわかってよかったです。

さて、歯ートフル技工に戻らなければ！今回少し出足が遅く、最初のうちはポツポツと親子連れが指の印象をとりに訪れるのですが、プラ板は1時間半経過の時点で5名・・・こちらが不安になるほど少ないではありませんか！



講座やポスターの表彰もあるのでそれからでしょうと言っていると、だんだん印象の数が増えてきました。でもプラ板が少ない。

周りを観察すると、指の印象を待っているお母さんが子供さん二人の白衣を着た写真を一生懸命撮っています。お姉ちゃんの方にはこっぴつピース、弟君のほうがお母さんにプラ板がしたい！と訴えています。お母さん写真撮るのに夢中で、何枚も撮ってます。もう一組トイレに行くときすれ違った親子連れ、ここも子どもさんがプラ板してきていい？っていうと こっちが先よ、ってお母さん。そりゃ子供と親では興味は違うよね。

後半プラ板が追いついてきて、イスを増やして対応しました。やはりプラ板が一番最後だったようで、周りが片付けはじめても3～4人の子供が席をはなれずに、絵を描いていました

それでもいつもより指の印象54人 プラ板47人と少な目でしたが楽しんで帰ってくれてたなら良いなと思います。

